

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年2月12日(2009.2.12)

【公表番号】特表2008-526807(P2008-526807A)

【公表日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-029

【出願番号】特願2007-549870(P2007-549870)

【国際特許分類】

C 07 J	3/00	(2006.01)
A 61 K	31/56	(2006.01)
A 61 P	29/00	(2006.01)
A 61 P	37/08	(2006.01)
A 61 P	17/00	(2006.01)
A 61 P	17/06	(2006.01)
A 61 P	17/04	(2006.01)
A 61 P	11/02	(2006.01)
A 61 P	11/04	(2006.01)
A 61 P	11/00	(2006.01)
A 61 P	11/06	(2006.01)
A 61 P	1/04	(2006.01)
A 61 P	37/02	(2006.01)
A 61 P	19/02	(2006.01)
A 61 P	27/02	(2006.01)

【F I】

C 07 J	3/00	C S P
A 61 K	31/56	
A 61 P	29/00	
A 61 P	37/08	
A 61 P	17/00	
A 61 P	17/06	
A 61 P	17/04	
A 61 P	11/02	
A 61 P	11/04	
A 61 P	11/00	
A 61 P	11/06	
A 61 P	1/04	
A 61 P	37/02	
A 61 P	29/00	1 0 1
A 61 P	19/02	
A 61 P	27/02	

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

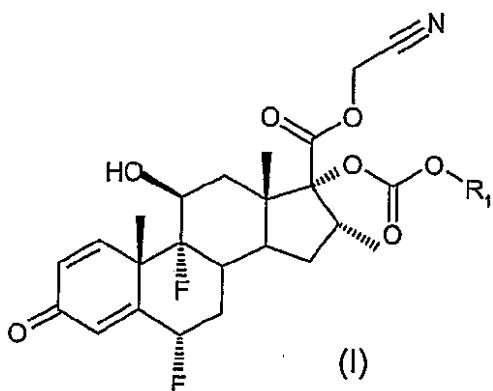
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式(I)の化合物：

【化 1】



(式中、

R_1 は 1,1-ジメチルエチル基又は 1,1-ジメチルプロピル基を示す) ;
又はその生理的に許容される溶媒和物。

【請求項 2】

(6₁,11₁,16₁,17₁)-17-({[(1,1-ジメチルプロピル)オキシ]カルボニル}オキシ)-6,9-ジフルオロ-11-ヒドロキシ-16-メチル-3-オキソアンドロスター-1,4-ジエン-17-カルボン酸シアノメチルである、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

(6₁,11₁,16₁,17₁)-17-({[(1,1-ジメチルエチル)オキシ]カルボニル}オキシ)-6,9-ジフルオロ-11-ヒドロキシ-16-メチル-3-オキソアンドロスター-1,4-ジエン-17-カルボン酸シアノメチルである、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 4】

動物又はヒトの医療に使用するための請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項に記載の式(I)の化合物又はその生理的に許容される溶媒和物。

【請求項 5】

炎症性及び / 又はアレルギー性症状の治療用医薬を製造するための請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項に記載の式(I)の化合物又はその生理的に許容される溶媒和物の使用。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項に記載の式(I)の化合物又はその生理的に許容される溶媒和物を、所望により 1 種又はそれ以上の生理的に許容される希釈剤又は担体と混合して含む医薬組成物。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項に記載の式(I)の化合物又はその生理的に許容される溶媒和物、及び噴射剤としてのフッ化炭素又は水素含有クロロフッ化炭素を、場合により界面活性剤及び / 又は共溶媒と組み合わせて含む医薬エアゾール製剤。

【請求項 8】

別の治療活性剤を更に含む、請求項 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

上記別の治療活性剤が α_2 -アドレナリン受容体作動剤である、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

(6₁,11₁,16₁,17₁)-17-({[(1,1-ジメチルエチル)オキシ]カルボニル}オキシ)-6,9-ジフルオロ-11-ヒドロキシ-16-メチル-3-オキソアンドロスター-1,4-ジエン-17-カルボン酸である化合物。

【請求項 11】

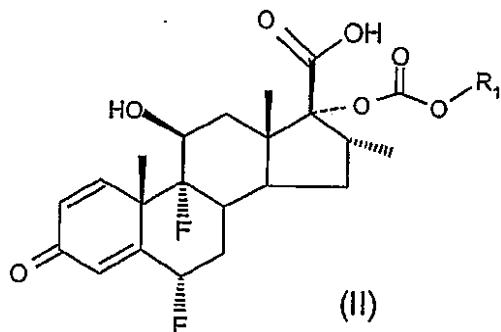
(6₁,11₁,16₁,17₁)-17-({[(1,1-ジメチルプロピル)オキシ]カルボニル}オキシ)-6,9-

-ジフルオロ-11-ヒドロキシ-16-メチル-3-オキソアンドロスター-1,4-ジエン-17-カルボン酸である化合物。

【請求項 1 2】

式(II)のカルボン酸

【化 2】

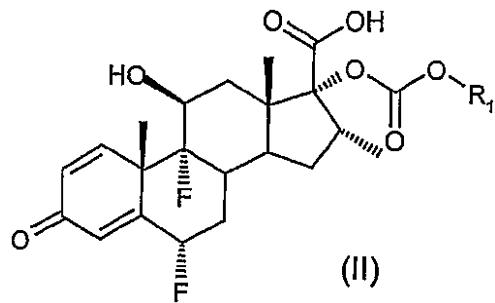


(式中、R₁ は請求項 1 で定義した通りである)を式 L-CH₂-CN の化合物(式中、L は脱離基を示す)と反応させることを含む、式(I)の化合物の製造方法。

【請求項 1 3】

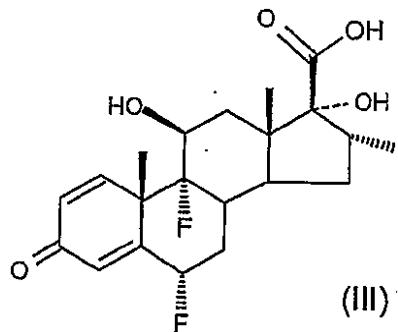
式(II)の化合物

【化 3】



(式中、R₁ は請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項で定義した通りである)の製造方法であって、クロロホルム R₁OCOCl 又は無水物 (R₁OCO)₂O を対応する式(III)の 17-ヒドロキシル誘導体

【化 4】



と反応させることを含む、上記製造方法。